

## 利尻・礼文について☆≡

### \*利尻\*

└ 地名の語源はリ・シリ…アイヌ語で高い島という意味。

一周約 62km。1～1.5 時間で一周可能、人口 5,600 人ほどの小さい島です。

### \*礼文\*

└ 地名の語源はレブン…アイヌ語で沖にある島という意味。

一周約 72km。人口 2,600 人ほどで利尻より小さい島です。

### ☆☆アクセス情報☆☆

└ 中部から利尻まで直行便なし。通常は中部→新千歳(乗換)→稚内→礼文・利尻へ。

稚内からフェリーで利尻・礼文まで約 1 時間 50～55 分。

時期によっては小牧から稚内までの FDA 直行便あり！！

【オススメ♪】2018/6/2～8/8 発で JTB チャーター FDA 直行便往復利用商品あり！

名古屋小牧空港⇄稚内空港 片道約 120 分！！

※通常、中部→新千歳(乗換)→稚内の場合片道 4 時間かかるので、半分の所要時間で到着します。

### ☆☆見どころ☆☆

└ 礼文島や利尻島では森林限界が低いため、北アルプスで標高 2,500m 付近に生育している高山植物を平地や海岸近くでも見ることができる。

訪れるなら、花の時期の 5 月～8 月がおすすめ。

### ☆☆気候☆☆

└ 稚内・礼文・利尻は気温が低く、強い風の影響で 6～8 月でも体感温度が 10℃前後になることもあります。

また、島は大変天候が変わりやすく、6～7 月は霧も発生することが多いので、温度調節のできる重ね着や、トレーナー、カップやウインドブレーカーなどの防寒着が必要です。

高緯度なので日差しが強く、日焼けをしやすいため、日焼け止めクリームをお持ちになることをおすすめします。

## ☆☆おすすめ観光地情報☆☆

### ～利尻編～



#### \* 姫沼 \*



原生林に囲まれた沼で、周囲 1 km ほどの静かな沼です。

30 分ほどでまわれる遊歩道もあり。ウォーキング初心者でも安心のコース。

風のない穏やかな日には湖面に利尻山が移る『逆さ富士』が見られることもあります。

風が少ない早朝がねらい目です\*

#### \* オタマリ沼 \*



利尻島最大の湖沼。

天気がよく風がなければオタマリ沼に映る逆さ利尻富士を見ることも可能。沼の周囲は約 1.1km・約 20 分の散策路が整備されており、開放感ある自然の中を散策することが可能。

白い恋人のパッケージにも採用されているため、利尻島一番の人気スポット (●^o^●)

＊仙法師御崎公園＊



利尻島の海は透明度が高く、海沿いの仙法志御崎公園では最北の海の様子や利尻富士の雄雄しい姿を堪能することができます。利尻山が噴火した時に、海に流れこんだ溶岩でできた奇岩、奇石が点在。磯場には天然の磯を利用した観察場があり、生息するウニや昆布などの様子を見ることができます。また、近くにはゴマフアザラシが住み着いており、運が良ければ間近に観察することもできるでしょう。

～礼文編～



＊澄海岬＊



『澄海（すかい）岬』は、もともとアイヌ語由来の別の名前があったようです。それをキレイな景色や澄んだ海の色から「澄海」と書いて「スカイ」としたそうです。その名の通り澄んだ青い海が広がり、奇岩が連なる絶景が広がります。



＊スコトン岬＊



礼文島の最北端「スコトン岬」は、目の前に無人のトド島と日本海の大海原、晴れた日には遠くにサハリンをも望める日本最北限の景勝地。原野と岩場の荒涼とした風景が広がる展望は、まさに最北という言葉がぴったり当てはまります。

この地はかつて稚内の宗谷岬とともに日本最北端を名乗っていましたが、測量の結果宗谷岬より少しだけ南に位置することが判明。以後、最北限の地と名乗るようになりました。

＊桃岩展望台＊



名前の通り、桃の形をした高さ約 250m の奇岩があり、周辺には高山植物のお花畑が広がってます。利尻富士の展望、眼下に見える猫岩など望むことができます。

トレッキングにも人気☆

## \*北のカナリアパーク\*



北のカナリアパークは礼文島の南部にあります。映画「北のカナリアたち」を記念して、ロケ現場として使用された麗端小学校岬分校が一般に公開しています。ここからの利尻島の眺めが非常に美しい。周りには、駐車場、売店、トイレがあります。小学校内には無料で入場することができます、映画の内容について紹介しています。ただし、撮影はできませんので、ご注意ください。入場料と駐車場は無料。

## ☆☆名物☆☆

### \*ウニ\*



島を代表する味覚といえばこれ。ひとくちにウニと言っても、エゾバフンウニとキタムラサキウニの2種類があります。いずれも漁期が限られており、オレンジ色で味が濃いエゾバフンウニは6~8月末、やや薄い色でさっぱりとしたキタムラサキウニは4~9月中旬が解禁。6~8月なら島の飲食店で1つのどんぶりに両方のウニがのった食べ比べ丼もできます。

### \*ホタテ\*



7~8月に最も大きくなり食べ頃を迎えるホタテ。身が大きく歯ごたえがあるホタテは絶品。刺身、貝焼き、フライなどで。島の飲食店で味わえます。

本土のものとは全く違う、甘く歯ごたえのあるホタテは絶品(^\_^)☆

＊利尻昆布＊



上品なダシがとれると高級料亭でも使われる利尻昆布。利尻昆布って、実は宗谷周辺に生息する昆布の名称なのです。なので、利尻島で採れていなくても利尻昆布と呼ばれているのですが、利尻・礼文でとれたものは特にシマモノと呼ばれ珍重されています。その理由は、利尻山から流れ出たミネラルたっぷりの海水が、美味しい昆布を育むからだそう。おみやげに人気(\*^\_^\*)

☆☆参考☆☆

礼文島観光協会 HP



<http://www.rebun-island.jp/>

利尻島観光案内 HP



<http://www.town.rishiri.hokkaido.jp/kankou-annai/>

どちらのHPからも各離島案内パンフレット、マップ、参考資料ダウンロードできますので、ぜひご活用下さい(^\_^)